

日野市まちづくりマスタープラン
改訂に向けた

テーマ別意見交換会

平成29年11月25日

日野市役所5階505会議室

本日の流れ

1 開会

2 はじめに

- ・ まちづくりマスタープランとは
- ・ 意見交換会の目的・スケジュール
- ・ 前回の振り返り

3 テーマ別意見交換（約60分）

4 各グループの結果発表

5 閉会

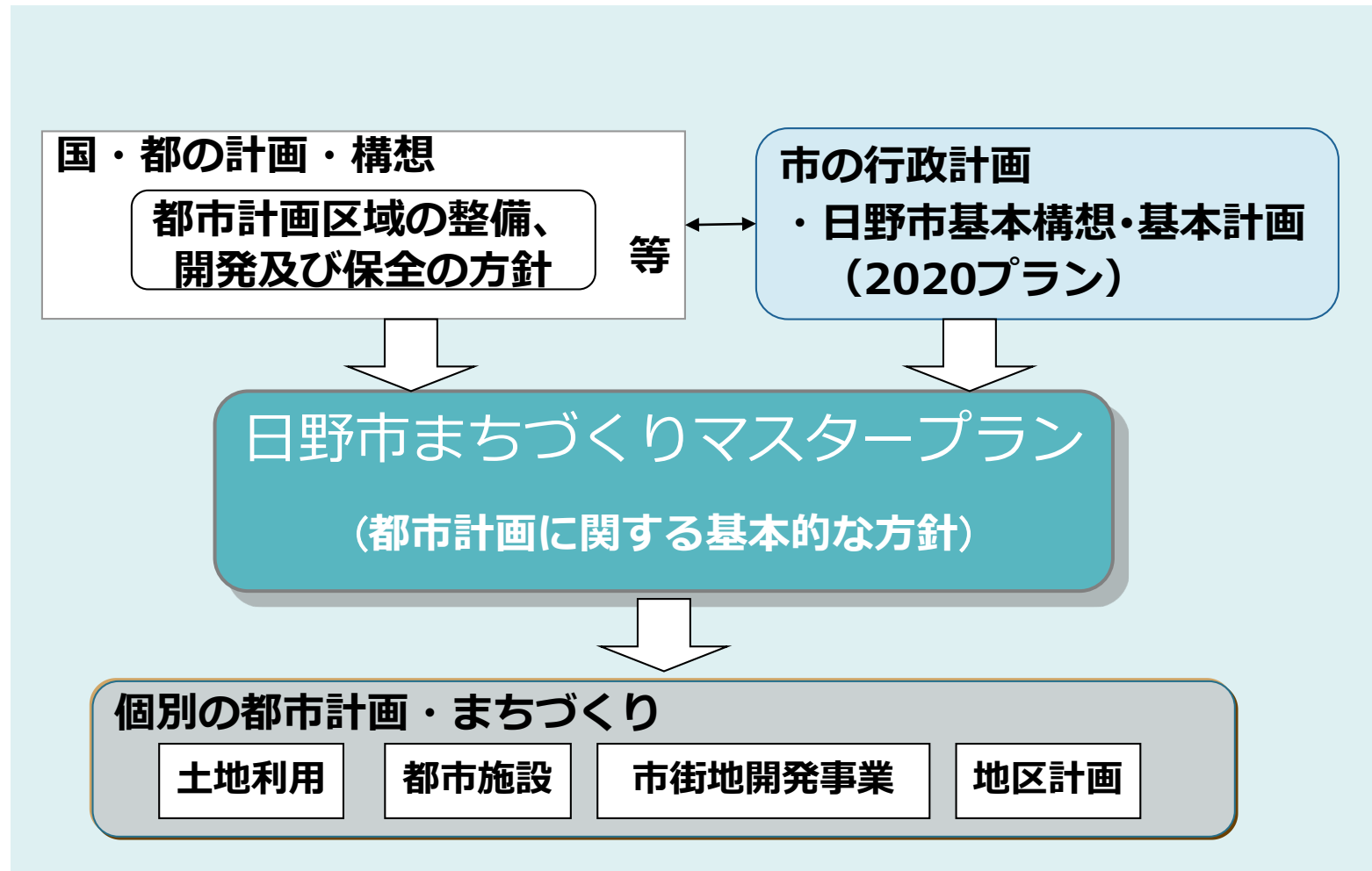
はじめに

- ・まちづくりマスタープランとは
- ・意見交換会の目的・スケジュール
- ・前回の振り返り

■ 日野市まちづくりマスタープランとは

- 現行の「日野市まちづくりマスタープラン」は平成15年に策定され、都市計画に関する基本的な方針が定められています。
- 策定から10年余りが経過し、社会情勢やまちの姿が変化するとともに、地域における課題も変わってきたため、現行のまちづくりマスタープランを生かした、新たなまちづくりマスタープランを策定します。

まちづくりマスタープランの位置付け



マスタープラン改訂の視点

- 現行のマスタープランを基本とし、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに目指すべき都市像を設定し、その実現に向けた方策を検討していきます。

視点1 現状及び今後のまちづくりの課題への対応

- 持続可能な地域づくり
- 暮らしながら働ける地域づくり
- 歩きたくなるまち、歩いて暮らせるまちづくり
- 地域で生き看取られるまちづくり
- 安全・安心なまちづくり



視点2 日野市の目指す都市像を再定義

『日野市に暮らす価値を高める』

マスタープランの構成

日野のグランドデザイン
まちづくりの基本理念と将来像

都市計画マスタープラン
グランドデザインを実現するための
土地・建物利用のルールや整備方針

全体構想

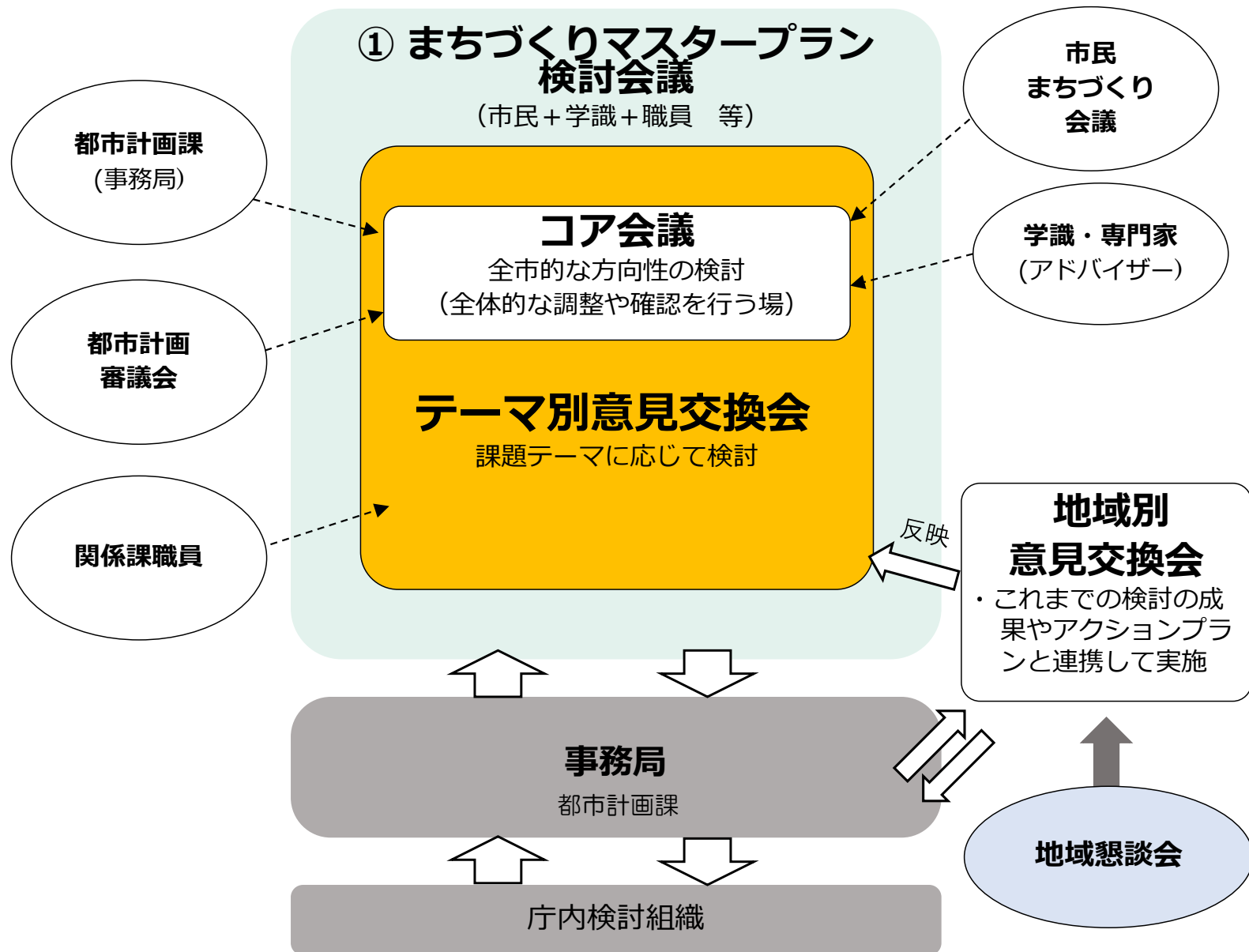
地域別構想

まちづくりの基本方針

1. 日野の記憶と文化を伝えるまち
2. 暮らしの舞台を支えるまち
3. 仕事を育むまち

基本方針に基づく
分野別の方針や重
点事業が記載され
ています

検討体制

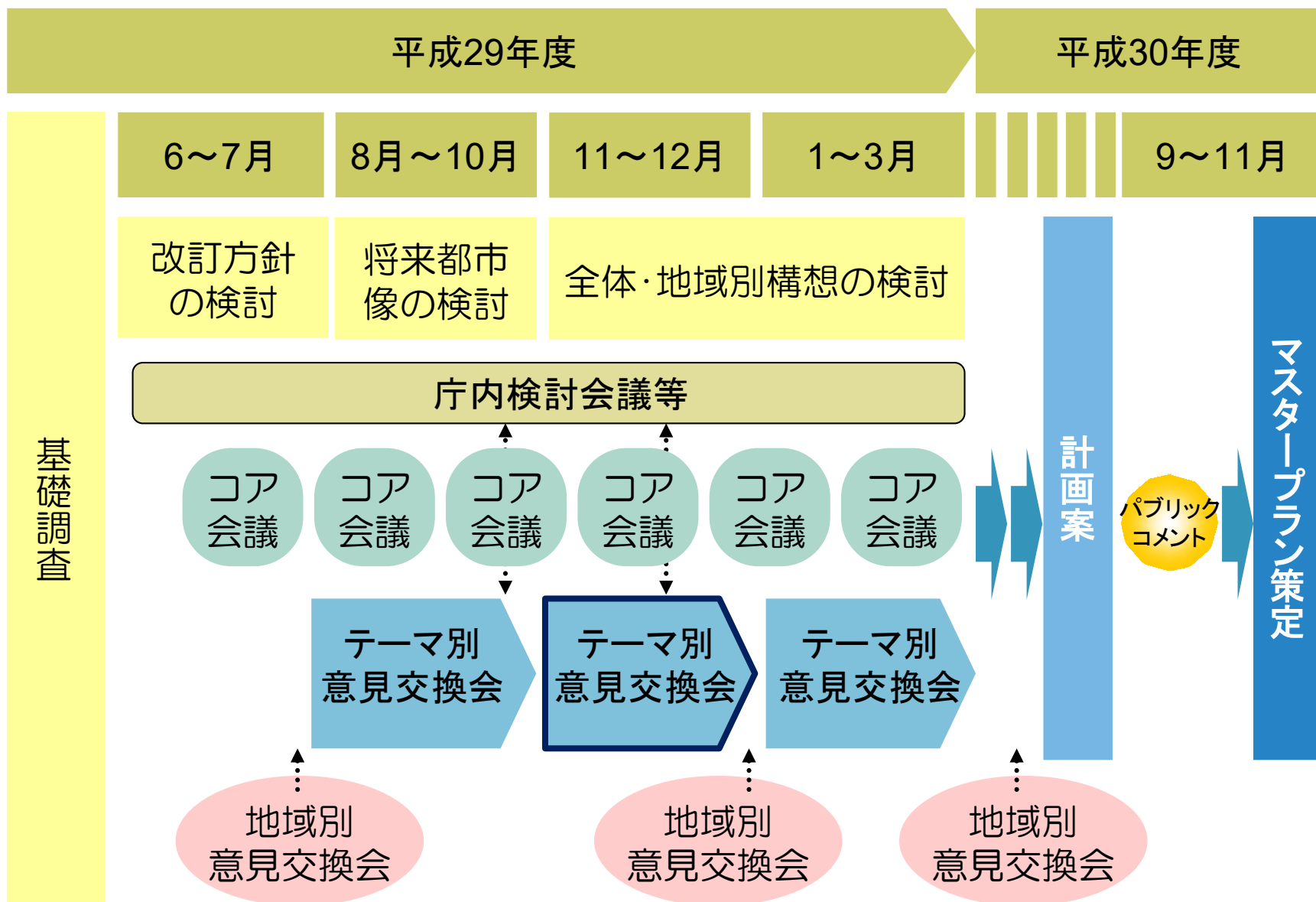


■ テーマ別意見交換会の目的

- 意見交換会は、新たに目指すべき都市像の設定とまちづくりの基本方針の見直しにあたり、日野市に暮らす市民の皆さんのご意見を反映することを目的としています。
- 意見交換は『**日野市に暮らす価値を高める**』をキーワードとして、5つのテーマに分かれて進めていきます。

	テーマ
1	高齢者目線の暮らし
2	子育て目線の暮らし
3	安心・安全な暮らし
4	水とみどりの豊かな暮らし
5	暮らしを支える交通環境





前回の振り返り

前回のテーマ別意見交換会

- 開催日時 平成29年9月30日（土） 10:00～12:00
- 参加人数 30名
- 5つのテーマ別に意見交換

- 高齢者目線の暮らし
- 子育て目線の暮らし
- 安心・安全な暮らし



- 水とみどりの豊かな暮らし
- 水とみどりの豊かな暮らし
- 暮らしを支える交通環境



現状

子育て世代にとっての日野市の暮らしやすさ

暮らしやすいところ

- ◎自然と触れ合って遊べる環境がある
 - ・「NPO法人子どもへのまなざし」が日野の財産！（カワセミハウス、なかだの森、落川などでの活動）
 - ・豊田駅近くに黒川清流公園がある
- ◎顔の見える近所関係がある
- ◎日常の買い物が便利（豊田周辺）
 - ・イオンのネットスーパーが便利
 - ・豊田じぞう宅配便も頑張っている
- ◎病院、高齢者施設
 - ・障がい者との交流の場がある
 - ・豊田駅周辺に高齢者施設、病院で働いている
- ◎ベビーカ（モーター）
- ◎都心への交通
 - ・豊田駅は始発がある
- ◎子育て支援に役立つ施設や制度
 - ・カワセミハウス（子ども、高齢者の居場所になっている）
 - ・ファミリー・サポート・センター

暮らしにくいところ

- △世代間の距離がある
 - ・ワーキングママ（特にフルタイム）は実は孤独
- △防災、防犯面で不安がある
 - ・災害対策は十分？（崖、河川、避難場所）
 - ・防犯面の不安がある（街灯の少ない夜道は危険）

子育て支援が不便

- △子育て支援が不便
 - ・車で自家用車が必要
 - ・障がい者との交流の場がない
 - ・豊田駅周辺に高齢者施設、病院で働いている
- △子育て支援が不足している
 - ・子育て支援のサポート制度が不足している人が多い

① 日野市は、暮らしやすいまちですか？

課題

日野市に暮らす価値を高めるために

生活利便性	・忙しい子育て世代を支える、日常生活の利便性の整った生活環境の確保
地域コミュニティ	・子育ての悩みを抱えるワーキングママの居場所のほか、地域で孤立しやすい属性を支え合える環境づくり
教育環境	・豊かな自然を活かした子育て環境ニーズへの対応 ・市内に立地する企業の先端技術等を活かした教育環境の提供による魅力向上
保育環境	・保育ニーズの増加への多面的な対応
暮らしの安全性	・夜間の防犯性や防災対策の強化

方向性（案）

（子育て環境として必要な条件より）

ワーキングママが地域とつながりを持てる居場所づくり
防災性、防犯性の高い地域づくり

取組(案)

- 子どもを預けつつ息抜きできる場所を増やす
- 子ども家庭支援センターの拡充（現在3箇所→各地域に配置）
- 世代を限定しないサロン、平日の夜に子連れで集まれる居場所をつくる
- 運営のマンパワーを確保する
- 交流施設周辺を中心に



子育てカフェモグモグ

（子育て世代の）

② 日野市に暮らす価値を高めるために、なにが必要でしょうか？

取組(案)

- ・日野市内ではまだコミュニティが不足しているため、閉じたコミュニティが出来ていない
- ・個別の属性の方を地域にどう引き取り込んでサポートできるかが鍵



（「子育て世代に選ばれるまちであるために」より）

より利便性の高い、魅力的な居住地づくり

取組(案)

- 駅周辺などの利便性が高い地域の利便性の強化

実家や家族と近居できる住まいの確保

取組(案)

- Uターン者

③ 活力のある

「いきいきとしたまち」とはどんなまちでしょうか？

取組(案)

- 市

取組(案)

- 駅前や特

（「いきいきとしたまち、づくりに必要なことより）

市内企業と連携した教育環境づくり

取組(案)

- 市内企業や大学の技術を活かした先端教育の実現

コア会議での検討状況

これからのまちづくりの方針・戦略

改訂の視点

- 高齢化への対応
- 子育て環境の充実
- 安心・安全な暮らし
- 水とみどりの豊かな暮らし
- 暮らしを支える交通環境
- まちの活力と産業

● 今ある地域資源を活用し、高齢者が元気に活動する環境を整える

● 若い世代・子育て世代の働き方・暮らし方を受け入れる環境を整える

● 災害に備えて地域を知り、地域の防災力を向上する

● 水と緑・農地と共にある暮らしの価値を再確認し、まちづくりに活かす

● 地域ニーズや地域の変化に応じて公共交通網を再編する

● 市の活力となる産業をまちづくりに活かす

● 地域の暮らしを支える仕組みをつくる

施策の方向性

<今回追加する主要な事業・取り組みの一部（案）>

- 田園住居地域の指定
- 緑の担い手として民間主体を指定する制度の創設
- 歩きたくなるまちづくり計画の策定
- 水辺等を活かした魅力ある公園の整備（農業公園、公園カフェ）
- 地域防災計画の改訂
- 立地適正化計画による災害危険度の高い斜面地等の居住規制
- 地域住民による防災体制の強化（事前復興計画の策定等）
- 農地と宅地が共存できる土地区画整理事業の推進
- 空きストック等を活用した老朽団地の再生
- 子育て支援・交流スペース、在宅ワーク支援施設等の充実
- 多様な暮らしを受入れるシェアハウスや民泊等の適切な立地誘導
- 地域懇談会・アクションプランの推進
- 地域活動の拠点・サロンの整備（空き家・空き教室等の活用）
- ライフステージに応じて住み替えを促進する仕組みの検討
- 地域公共交通総合連携計画の改訂（バス路線拡充、ミニバス等の効率化、デマンド交通や地域ニーズに合った事業スキームの検討）
- 立地適正化計画による地域を支える生活支援機能の適切な誘導
- 大規模工場跡地など土地利用の特別協議が必要な地域の明示
- 田園住居地域の指定
- 生産緑地要件の緩和による都市農地の保全
- 生産緑地内の直売所・農家レストランの設置
- 丘陵住宅地等における地区まちづくり計画の策定等
- 地域懇談会、テーマ別意見交換会の活動支援

テーマ別意見交換



前回の意見交換の内容を確認し、
これからの日野市に必要な取り組みについて
話合いましょう！

（お問合せ）

日野市 まちづくり部 都市計画課

電話（042）514-8354